

# 能登半島地震 復興支援ニュース

◆支援メンバーの活動や、被災地支援の取り組みの様子を発信しています◆

いわて生協より支援に行かれた職員からの報告をご紹介します。  
1月15～19日、職員2人が派遣されました。

発行：全国生協災害対策本部

編集：日本生協連渉外広報本部

アドレス: pr@jccu.coop

2024年2月6日発行 NO.10

co-op



せいきょうから、あしたへ



のと北部センターでは再開に向けて、  
地域にお伺いできるルートを確認。



住宅へ続く細い道では、陥没やマン  
ホールの突き出しが多かったです。



通行止めの道が多く、渋滞と迂回の繰り返しでした。  
懸命な復旧作業で通れる道は徐々に増えています。

## 宅配業務支援に参加したいいわて生協職員の声

●今回の活動では、七尾市と穴水町にある2つの宅配センターの業務を支援しました。担当者と一緒に配達に伺い、地震で状況が変わっても、「商品が届く」という物理的なことだけでなく、これまで食べてきた商品が手元にあることでの「気持ち的なゆとり」や、慣れ親しんだ担当者がお伺いすることでの「安心感や人との繋がり」もお届けすることができました。改めて、宅配は“地域へ元気を届けられる”ことも含めたインフラ的役割を担っていると感じました。今回大きな被害を受けた能登地域には、息の長い支援が必要だと思います。日頃から出来る支援、地域への想い、生協で働く仲間を思いながら岩手へ戻りました。

●七尾市の宅配センターの支援として、トラックに同乗して配達に伺いました。私が伺ったのは能登の南側に位置する山間の地域で、電気は通っており、飲み水は確保されている様子でした。ただ、断水のため生活用水に不便を感じている方もいらっしゃいました。配達に伺うと「え、どうやってきたの？」と驚く組合員さんも。また、岩手出身の組合員さんには「岩手の言葉がなつかしい」と喜ばれ、「がんばってね」とかえって励ましの言葉をいただきました。これからも自分にできる支援を続けていきたいと思っています。



## みやぎ生協 石巻センターからのメッセージ

みやぎ生協の石巻センターでは、東日本大震災の際に届いた励ましの言葉に救われた経験から、石巻地域の組合員や職員へ応援メッセージを呼びかけ、集まったメッセージを送っていただきました。かつて辛い経験をされた方ならではの共感と心から復興を祈る言葉がつつられています。一部ですが紹介します。



メッセージを送ってくださった石巻センターの皆さま

能登半島地震でおせくなりになられた方々のご冥福を謹んでお祈りするとともに、被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

停電している夜は、とても長く、暗く、水を使うのも不自由で、さっきまで普通に存在していた、街・家・人が一瞬で変わってしまった現実は、とても大変でつらいと思います。でも絶対に復興します。今は、一日一日を過ごすので、精一杯だと思いますが、それも大切な一歩です。無理はせず、がんばろうと思えた時にがんばって下さい。皆様がいつもの生活に戻れるよう、お祈り申し上げます。

今は、先が見えないほど不安で苦しくて辛い状況だと思えます。元通りの日常に戻りまは時間がかかるとは思いますが、必ず復旧します。それを信じて少しづつ前進して下さい。頑張りすぎなくて大丈夫ですよ。休みなさい。歩みましよう。何もしあげない事は出来ませんが皆さしか、心から笑顔になれる日が来ます事を願っています。応援しています。石巻センター